戦後70年特集

戦後70年を迎え、戦争放棄を定めた憲法9条が世界から脚光を浴びている。きっかけは、神奈川県の女性が一人で始めた「9条にノーベル平和賞を」という取り組みだ。安倍内閣の解釈改憲で戦争への参加が現実味を帯びるなか、瞬く間に共感の輪が広がり、平和賞候補に急浮上。昨年の受賞は逃したが、9条が掲げる非戦の誓いは世界中に響き、今期の有力候補として注目を集めている。

日本国憲法第9条

1. 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

9条にノーベル賞を

非戦の誓いに賛同広がる

神奈川県内の記者会見場で昨年10月、「憲法9条にノーベル平和賞を」実行委員会のメンバーは緊張の面持ちで発表を待っていた。

平和賞がパキスタンのマララさんらに決まると、一番に拍手を送ったのが発案者の鷹巣直美さんだった。

「9条にノーベル賞を」署名を本格的に始めて約1年で44万筆超を集め、平和賞候補にまで一気に駆け上がった。発表後の会見で鷹巣さんは、「もし戦争になった時に後悔しないようにと始めた取り組みがこんな大きなものになるとは思ってもいなかった」と驚きながらも、「署名は皆の平和への願いが集まった結果です」と話し、真っすぐに前を見つめた。

ネットで呼びかけ

「戦後70年にわたって戦争をさせなかった9条にもノーベル賞の資格がある」――。2012年の欧州連合（EU）の平和賞受賞を見てひらめいた鷹巣さんは、子育てをしながらインターネットで呼びかけを開始。ノーベル委員会に署名を送り、要請を重ねた。

ノーベル賞の授与は人物か団体に限られ、憲法は受賞できないことを知ると、思案の末に対象を「憲法9条を保持する日本国民」に改めてキャンペーンを続けた。

心無い誹謗・中傷のメールに悩まされる一方で、次々と賛同者が現れた。

地元の「9条の会」などに報告したところ、有志による実行委員会が13年8月に発足。署名と共に大学教授などの推薦人も集まり、14年4月にノーベル委員会が正式に受理した。

共同代表の星野恒雄さんは、鷹巣さんの話を聞き、「すごいアイデアだな」と感心した。

自身は戦時中、疎開先で草刈り中に戦闘機の機銃掃射に襲われた経験を持つ。幸い負傷しなかったが、その恐怖は今も鮮明に覚えている。「9条が壊されると、また戦争する日本になってしまう。9条を活かす運動をしなければ」と署名活動に奔走した。

閣議で状況が一変

そんな最中の7月1日、実行委を取り巻く雰囲気が一変する出来事が起こる。安倍内閣の憲法解釈の変更による集団的自衛権の閣議決定だ。それまで11万筆だった署名は閣議決定の直後から急増し、10月には44万筆に達した。

署名には「安倍首相の暴走に心を痛めている。何とかしたい」「ノーベル賞とは素晴らしい発想。平和憲法を絶対守ろう」などの言葉が添えられ、一筆一筆に「戦争のできる国に戻してはならない」「世界中から戦争をなくしたい」との強い願いが込められていた。

憲法に光を当てて

昨年は受賞に至らなかったが、実行委は「今年が本番」と意気込む。100万筆を目標にし、平和賞を受賞するまで活動は続く。

星野さんは言う。「この取り組みの最終目的はノーベル平和賞ではありません。平和賞を通して憲法に光を当て、世界中の人に9条の意義を理解してもらうことにあります。命を守り育てることがどんなに大切か。9条を読み直し、噛み締めてもらいたい」

戦後70年、非戦の歩みを脅かす動きが顕著になるなか、平和憲法の輝きがいっそう増している。◆

ノーベル平和賞の推薦締め切りは2月1日。推薦人や賛同署名が多いほど委員会へのアピールになるという。詳しくは、実行委員会の署名サイトまで。

http://nobel-peace-prize-for-article-9.blogspot.jp/

「ノーベル平和賞で憲法に光を当てたい」と語る星野恒雄さん（「憲法9条にノーベル平和賞を」実行委員会共同代表）

ノーベル平和賞の主な受賞者

1974年	佐藤栄作	非核三原則に基づく外交
88年	国連平和維持軍	世界各地の紛争の収拾や平和に貢献
89年	ダライ・ラマ14世	非暴力によるチベット問題の解決を呼びかける
91年	アウンサンスーチー	非暴力によるミャンマーの民主化、人権保障をめざす
93年	ネルソン・マンデラ	南アフリカの人種隔離政策を撤廃
99年	国境なき医師団	先駆的な人道援助活動
2009年	バラク・オバマ	核なき世界をめざす理念と行動
13年	化学兵器禁止機関	化学兵器の廃棄や拡散防止に貢献
14年	マララ・ユスフザイ	女子・子ども教育の権利保障を求める行動

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは 電　話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

医科・歯科共済セミナー

相続税改正と生前贈与の活用
日時 1月22日（木）午後2時～4時
会場 保険医会館
講師 大澤直之氏（第一生命教育部長）
定員 30人
会費 会員無料、未入会者1万円

新規開業医講習会〈新規個別指導対策編〉
日時 1月24日（土）午後6時～8時
会場 M&Dホール
講師 社保研究部講師団
定員 100人
会費 会員無料
持参物 『カルテ記載を中心とした指導テキスト』2013年8月版
※参加は大阪府歯科保険医協会会員本人に限る

東大阪・八尾・柏原地区

口臭と口臭症
日時 1月24日（土）午後6時30分～8時30分
会場 東大阪市民会館4階第1会議室（近鉄奈良線・JRおおさか東線「河内永和」駅下車すぐ）
講師 本田俊一氏（東大阪市開業）
定員 30人
会費 会員無料、未入会者1万円

1月度生涯研修

歯科・口腔領域にかかわる外傷事例と診断・治療のポイント
日時 1月25日（日）午前10時～午後1時
会場 M&Dホール
講師 長尾徹氏（岡崎市民病院歯科口腔外科統括部長）
定員 100人
会費 会員3千円、未入会者1万円

「アシスタントのためのバキュームテクニック」基礎編
日時 1月31日（土）午後3時～6時
会場 とみもと歯科（大阪市港区）
講師 歯科臨床・学術部講師団
会費 会員院所スタッフ5千円
定員 16人（先着順）
※1院所2人まで
※申込者には、開催要項と正式申込書などを後日FAXします。「モリタ」のバキュームを使用

「シャープニングセミナー」よりよいスケーリングのために
日時 2月1日（日）午前9時30分～12時30分
会場 保険医会館5階
講師 歯科臨床・学術部講師団
会費 会員院所歯科衛生士5千円。『正確なシャープニング安全なスケーラー操作』（定価3、996円）をテキストとして使用しますので、院所で一冊購入を検討ください
定員 15人（先着順）※1院所2人まで
持参物 顎模型、プラスチックテスター、シャープニングストーン、グレーシースケーラー
※申込者には、開催要項と正式申込書などを後日FAXします

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。